

第10回県政戦略会議の概要

- 1 開催日時：平成22年1月29日（金）9：00～10：00
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、各部局長等
- 4 欠席者：防災危機管理部長、県立病院改革担当理事、廃棄物政策担当理事
- 5 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1：平成22年度県政運営方針（最終案）について（政策部）

- 資料1に基づき説明

（意見交換なし）

議題2：平成22年度緊急雇用・経済対策について （政策部、生活・文化部、農水商工部）

- 資料2に基づき、各部説明

（資料2-2の地域人材育成事業について）

- 地域人材育成事業に重点6分野に該当しない事業が、農水商工部から2事業提案された。地域人材育成事業においては、重点6分野以外に県が4分野を設定できるとされているため、これらの2事業を実施するために追加分野を設定したい。
追加分野の設定は2月25日に開催される「三重県雇用・経済危機対策会議（仮称）」で正式決定となるが、対象事業を広く設定するために、例えば「ものづくり産業分野等」などとすることを考えており、この場で審議をお願いしたい。
- ☆知識集約型産業の趣旨に沿うものを設定していただければ構わない。
- ☆資料2-3の13pで「モノづくり産業分野等」の事業計画例示があるので、構わないのではないかと。
- 県が追加する分野の一つを「ものづくり産業分野に関するもの」とし、2月25日開催予定の三重県雇用・経済危機対策会議で提案することとする。

(資料2-4 平成22年度三重県緊急雇用・経済対策推進方針案)

- ☆ 働きやすい環境づくりにおいて、「育児、家事負担、コミュニケーションなどの課題を抱える」が女性に係ってくるような誤解を受けるので、表現内容を検討してほしい。
- 記載内容について検討する。

- ☆ 公共事業は地域経済の活性化に大きく寄与すると思う。表現を明確にしてはどうか。
- 2pの経済対策、国の対策と連動した事業の推進で公共事業については表記しているが、記載内容については再度検討する。

(資料2-5 平成22年度当初予算 第7次緊急雇用・経済対策案)

- ☆ 雇用対策は「緊急的な雇用機会の創出」「継続的な雇用機会の創出」「雇用につながる就労支援」の3つの項目で表記されており、「継続的な雇用機会の創出」に重点分野雇用創造事業が記入されている。重点分野雇用創造事業と地域人材育成事業は重要な事業であるため、新たに項目を設け、特出しで記載すればどうか。
- 記載内容について検討する。

(資料2-6 平成22年度当初予算 第7次緊急雇用・経済対策事業一覧案)

- ☆ 経済対策の「将来に向けたチャンスづくり」において、農水商工部の事業のみとなっているにはなぜか。
- この項目では、農水商工部以外で実施している部がほとんどない。また、国が新成長戦略をまだ提示しておらず、現状では記載は難しいと考えている。

議題3：県から市町への権限移譲にかかる今後の進め方について(案)(政策部)

- 資料3に基づき、説明

(意見交換なし)